

決算説明会 第2四半期(累計) (2013年6月期)

2013年2月14日

株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入
 比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入
 会計期間の表現：
 2Q(累計)：第2四半期連結累計期間
 2Q ：第2四半期連結会計期間

アジェンダ

2013年6月期2Q(累計)業績概要

執行役員
経理部長

佐藤孔史

2013年6月期連結業績予想

代表取締役

執行役員社長 小日向久治

事業構造改革の進捗状況

代表取締役

執行役員社長 小日向久治

質疑応答

2013/6期 2Q(累計)の状況

■ マクロ環境

- ▶ 日本は、世界景気の減速を背景に輸出が減少。
- ▶ 米国は、緩やかな回復の兆し。「財政の崖」等の下振れリスクが懸念。
- ▶ 中国は、景気拡大のテンポが鈍く、回復せず。

■ アルバックをとりまく状況

- ▶ FPD :大型液晶関連投資は、引き続き停滞し、一部を除いては、モバイル関連の設備投資も減速傾向。
- ▶ 半導体 :PC販売が低迷が続き、期待のWin8も伸び悩む。メモリを中心に設備投資環境は厳しさが続く。
- ▶ LED、パワー半導体など :中国の投資の回復の兆し見られず。日本もやや減速。
- ▶ 材料 :液晶パネルメーカーの一部で稼働率上昇するが、力強さに欠ける。

2013/6期 2Q (累計)業績

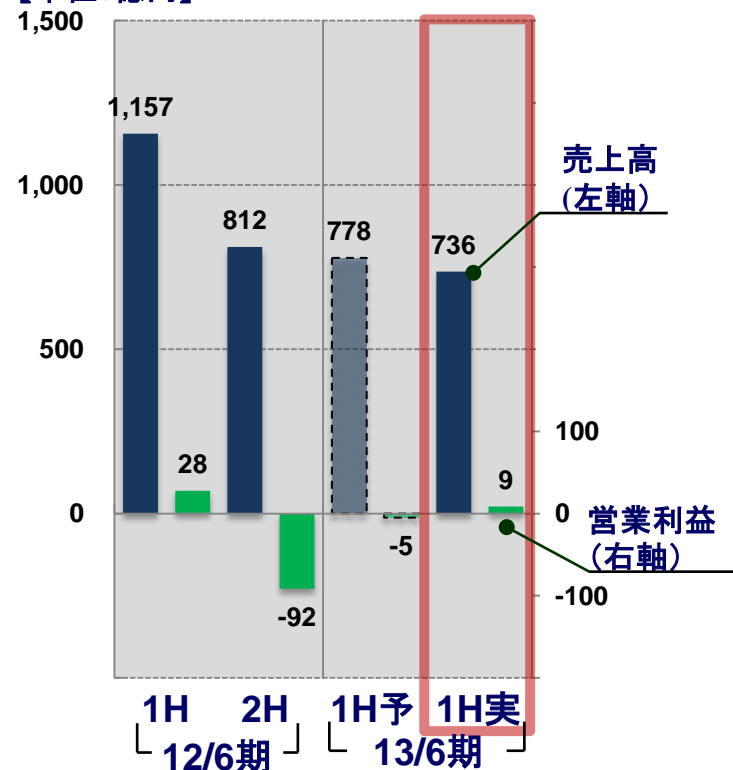
上期は、受注高は788億円(予想値847億円)となり59億円下回る。売上高は、736億円(予想値778億円)となり42億円下回る。利益は、追加原価の低減やコストダウンにより、売上総利益が増加、加えて、固定費等の削減で、営業利益が9億円(予想値▲5億円)となり、営業黒字に転換。

【単位:億円】

	2012/6期2Q (累計)	2013/6期 2Q(累計)			
		予想 (11/12)	実績	予想比	
				増減額	増減率
受注高	822	847 (+3%)	788 (-4%)	-59	-7%
受注残高	756	719	718		
売上高	1,157	778 (-33%)	736 (-36%)	-42	-5%
売上総利益	218		166		
率	18.8%	17.2%	22.6%		
販管費	190		157		
営業利益	28	-5 (-)	9 (-69%)	14	-
率	2.4%	-0.6%	1.2%		
経常利益	34	-13 (-)	6 (-82%)	19	-
率	2.9%	-1.7%	0.8%		
四半期純利益	3	-25 (-)	-8 (-)	17	-

売上高と営業利益の推移

【単位:億円】



【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別売上高の実績

FPD・PV関連は、一部装置の売上検収時期が3Qへ変更、半導体関連はメモリ、電子部品製造装置などの受注減により、予想を下回る。一般産業用装置は、自動車関連などが堅実で予想を上回る。材料は、2Qで回復したが、1Qのパネルメーカー減産の影響をカバーしきれず、予想を下回る。

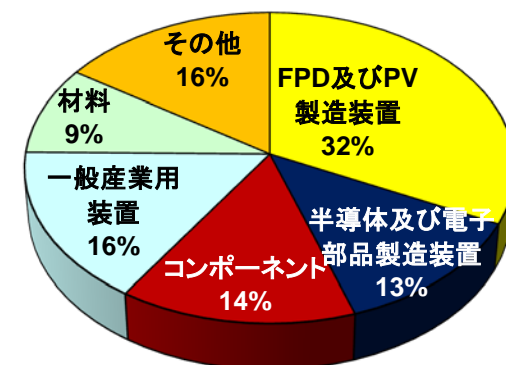
品目別売上高の差異(予想比)

【単位:億円】

2012/6期2Q(累計)	
セグメント及び品目	
真空機器事業	967
FPD製造装置	544
PV製造装置	30
半導体及び電子部品製造装置	170
コンポーネント	123
一般産業用装置	100
真空応用事業	190
材料	91
その他	99
合計	1,157

2013/6期2Q(累計)			
セグメント及び品目	前回予想 (11/12)	実績	
		売上高	予想比 (増減率)
真空機器事業	582	553	-5%
FPD及びPV製造装置	256	237	-7%
半導体及び電子部品製造装置	114	93	-19%
コンポーネント	102	106	4%
一般産業用装置	109	118	8%
真空応用事業	197	183	-7%
材料	75	67	-10%
その他	122	115	-5%
合計	778	736	-5%

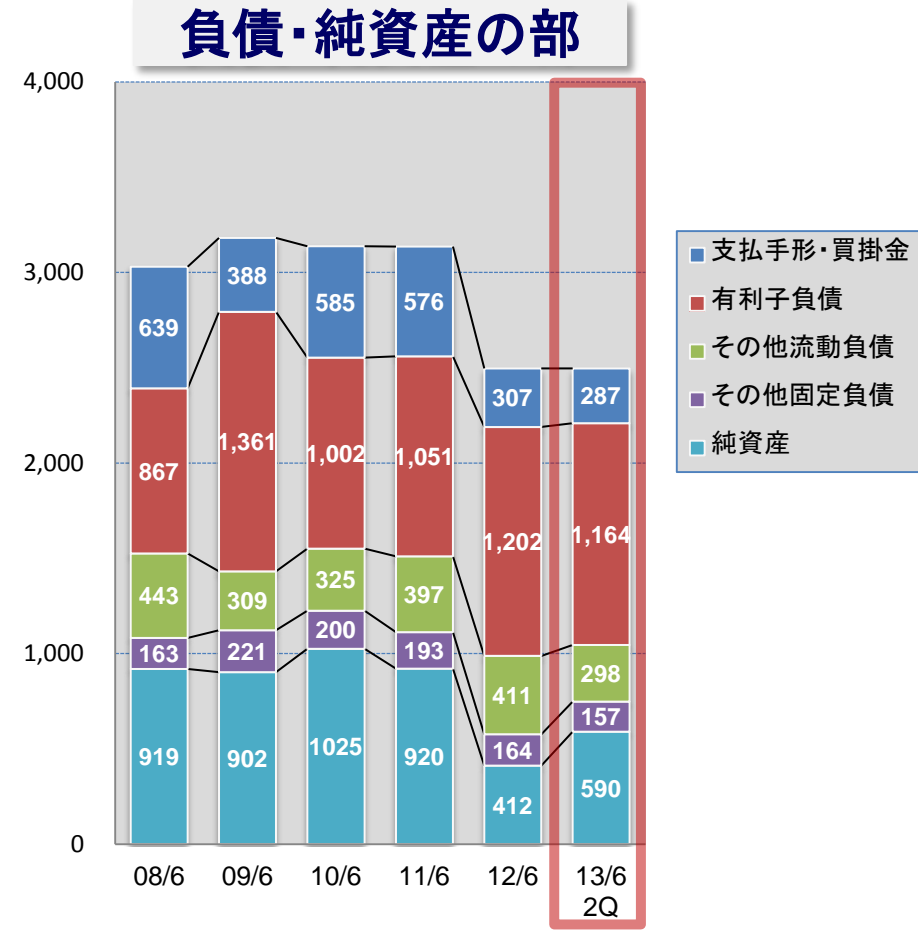
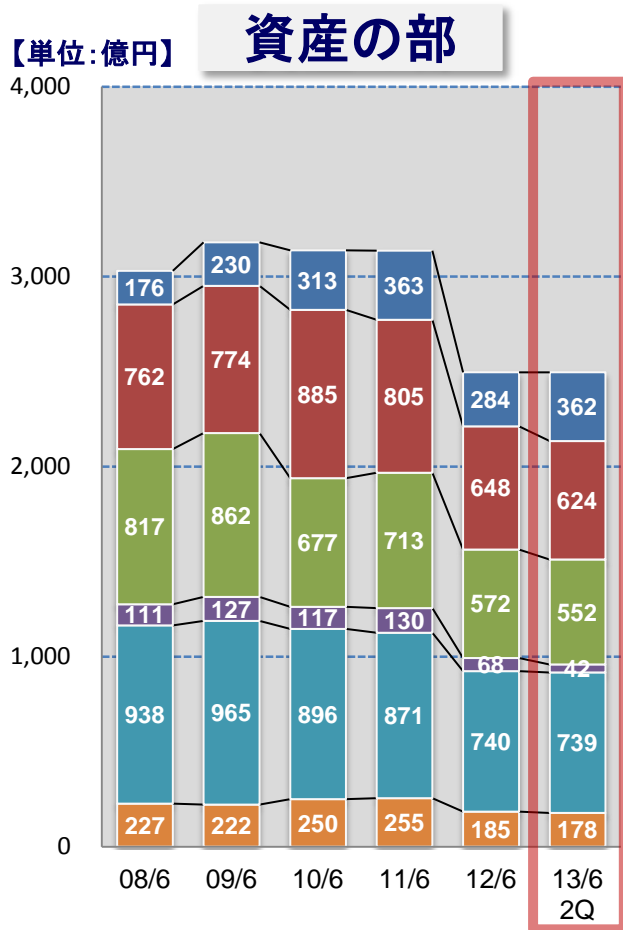
品目別売上高比率 (2Q(累計))



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結貸借対照表

種類株発行により、自己資本が増強され、自己資本比率は22.0%へ。

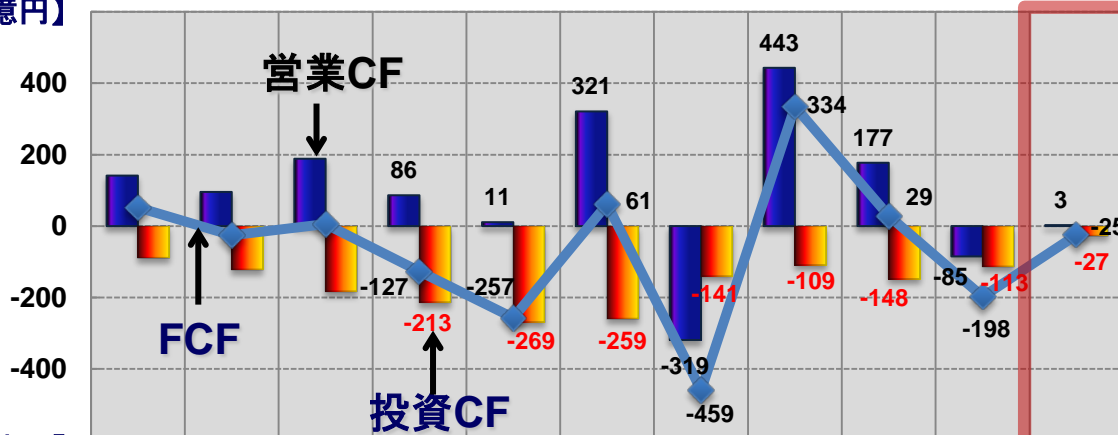


【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

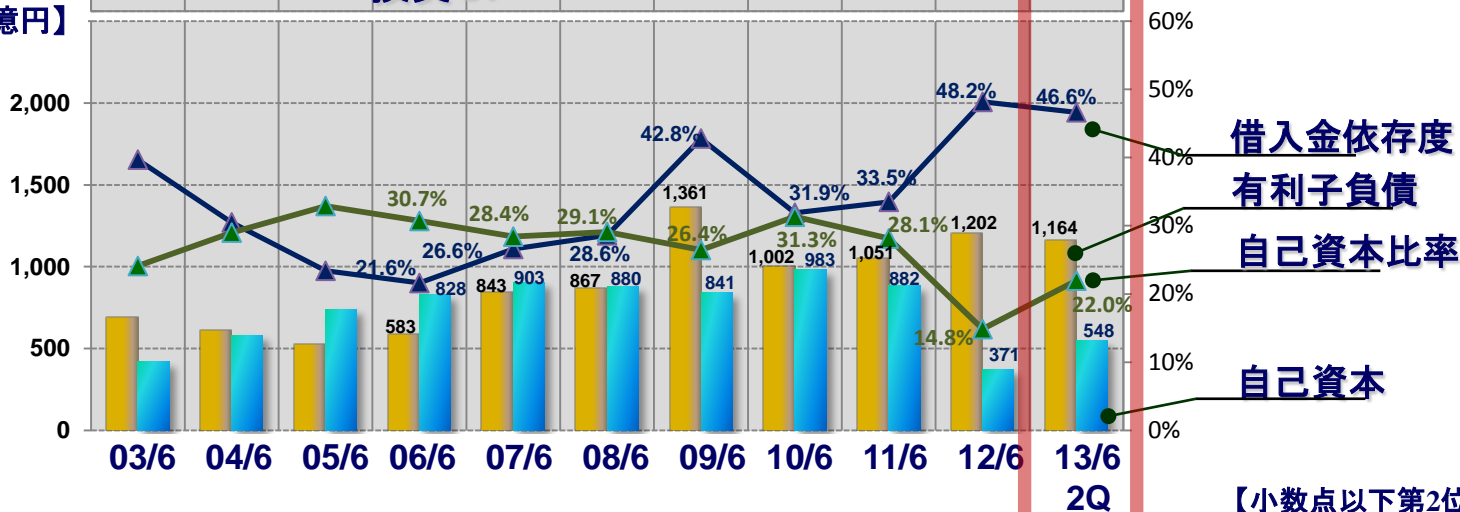
キャッシュ・フローと有利子負債の実績

特別退職金の支払等が53億円あったが、運転資金が61億円減少したことにより営業キャッシュフロープラスを確保

【単位:億円】



【単位:億円】



【小数点以下第2位は四捨五入】

アジェンダ

2013年6月期2Q(累計)業績概要

執行役員

経理部長 佐藤孔史

2013年6月期連結業績予想

代表取締役

執行役員社長 小日向久治

事業構造改革の進捗状況

代表取締役

執行役員社長 小日向久治

質疑応答

2013/6業績予想のポイント

- 上期の売上高は、計画を下回ったが、追加原価等の低減による売上総利益率の改善、経費を中心とした固定費の削減で、営業利益9億円と当初計画を上回る結果となった。
- 通期受注は、FPDは引き合いの状況から回復基調にあるものの、不透明な環境が続く。また、半導体・電子関連が依然として低迷すると予想されるため、一旦、予想値を保守的なレベルに変更。
売上高は、予想値達成の見込み。引き続き、固定費等の削減で、営業利益は予想値達成の見込み。
- 来期は、引続き厳しい受注環境が続くと予想する。FPDは過去のピーク時には及ばないものの、回復を見込んでいる。半導体、電子機器、産業用装置関連で新規顧客の開拓を進め受注の確保に努める。また、損益分岐点を更に引き下げ、利益体質の強化に努める。

2013/6期業績予想

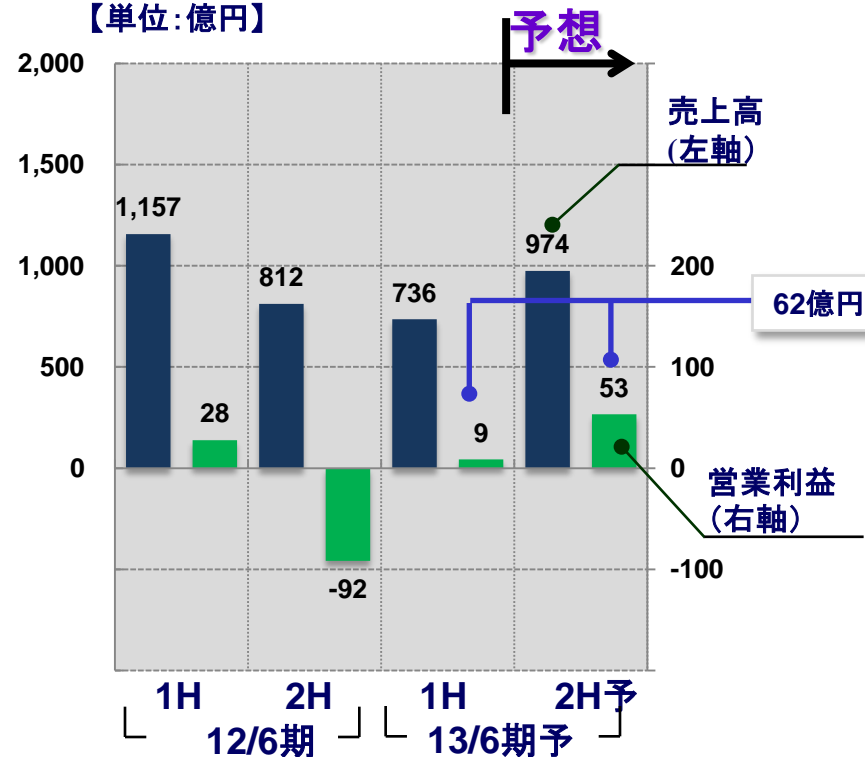
通期予想は、受注高、1,670億円に予想値を変更するものの、売上高は変更なし。利益は、グループ全体で原価や経費等の固定費をきめ細かく管理し、営業利益は期初の計画値を確保。

【単位：億円】

	2012/6期	2013/6期				
		2Q(累計)	下期予想		通期予想	
		実績	前回予想 (11/12)	修正	前回予想 (11/12)	修正
受注高	1,522	788 (-4%)	938	882 (+26%)	1,785	1,670 (+10%)
受注残高	650	718			725	627
売上高	1,968	736 (-36%)	932	974 (+20%)	1,710	1,710 (-13%)
営業利益	-64	9 (-69%)	67	53 (-)	62	62 (-)
率	—	1.2%	7.2%	5.5%	3.6%	3.6%
経常利益	-65	6 (-82%)	59	40 (-)	46	46 (-)
率	—	0.8%	6.3%	4.1%	2.7%	2.7%
当期(四半期)純利益	-500	-8 (-)	48	31 (-)	23	23 (-)

売上高と営業利益の推移(半期毎)

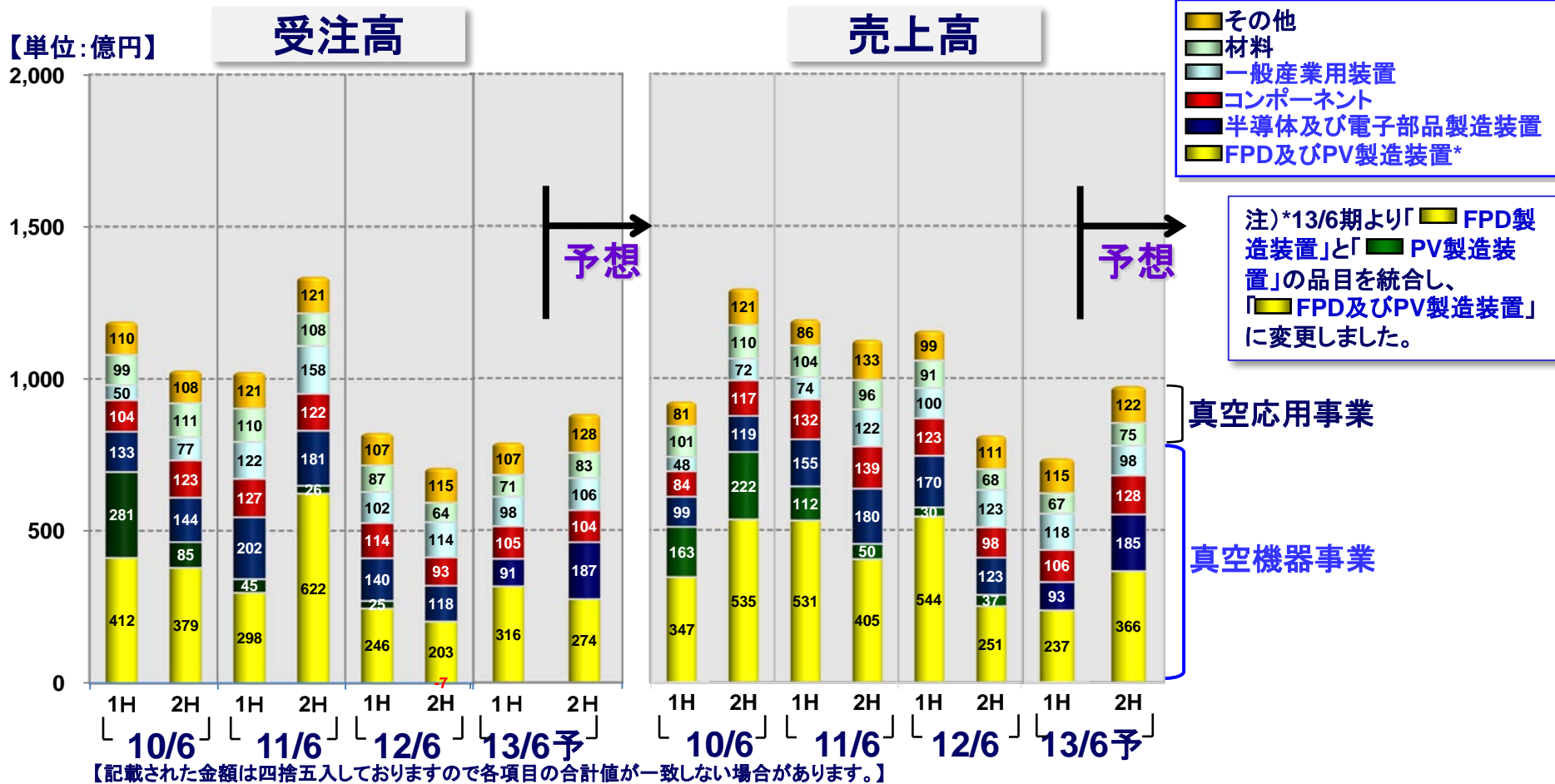
【単位：億円】



【 ()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

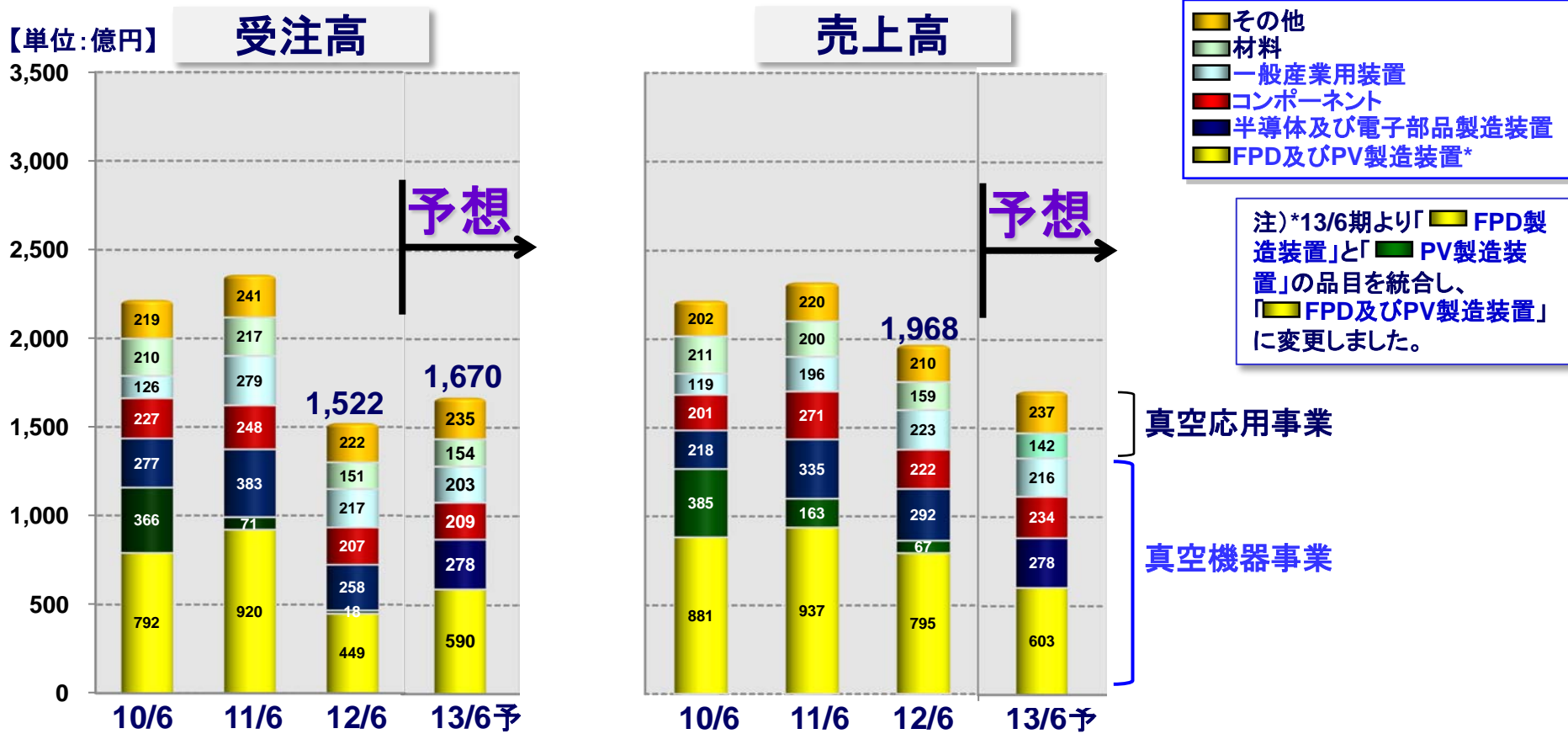
品目別受注高/売上高実績・予想(半期)

下期の受注高は、上期比で増加の見込み。FPD関連の有機ELで投資が具体化。半導体関連は、メモリやパワー半導体、LEDの投資回復が遅れるなど、予断を許さないものの、ロジックや電子部品関連で上期比増加する見込み。PVは国内の投資が遅れ、厳しい状況が続く。売上高は、上期比増加の見込み。



品目別受注高/売上高実績・通期予想

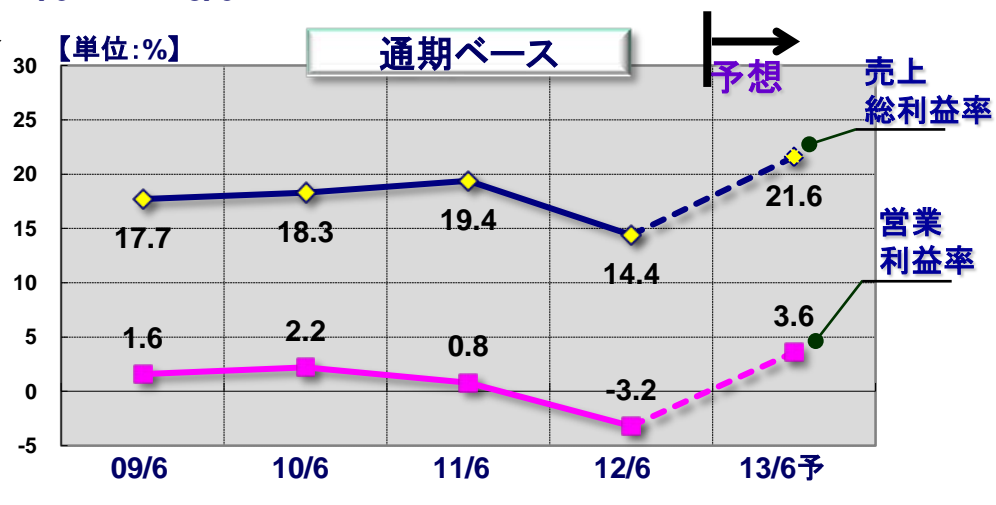
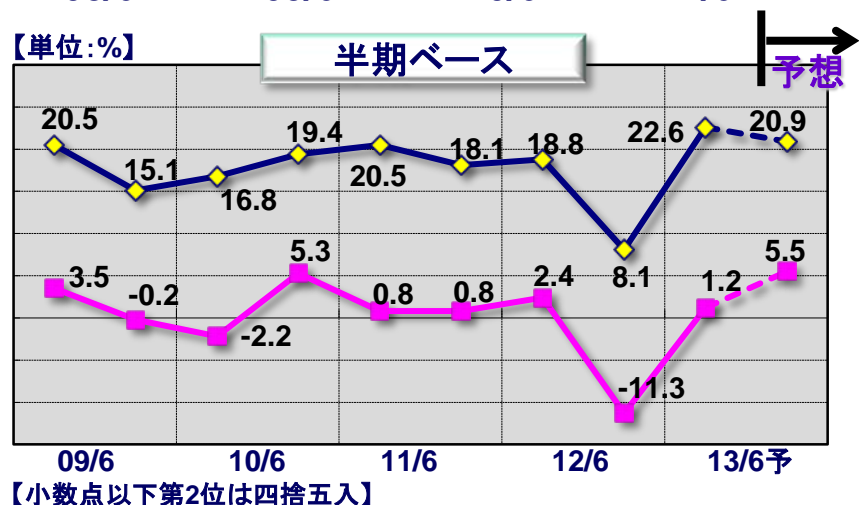
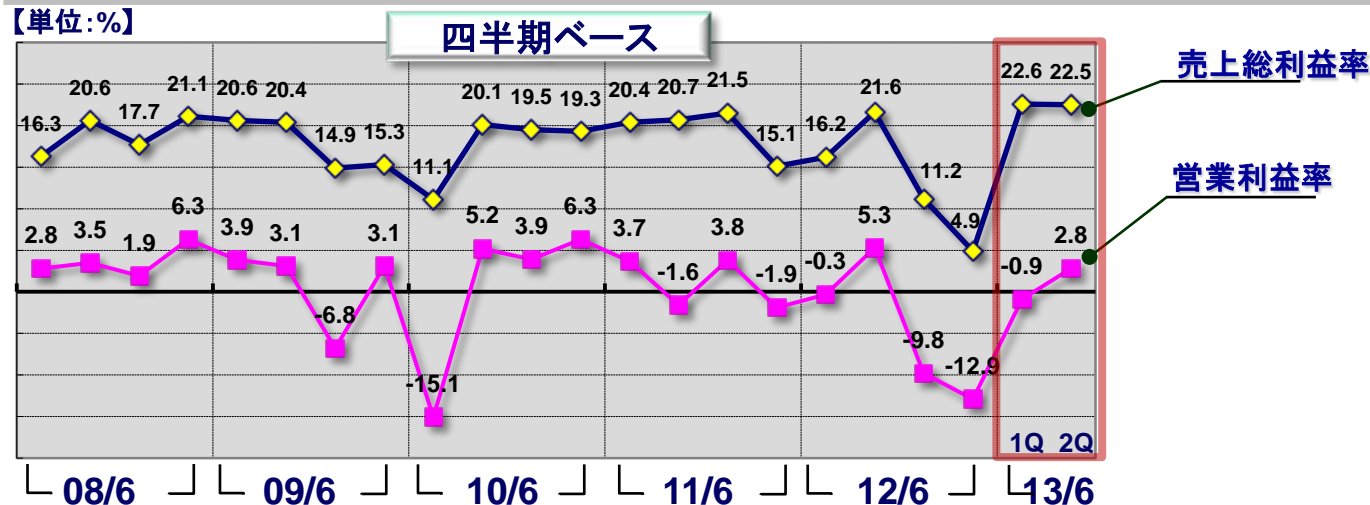
通期予想は、12/6期の受注が大幅に落ち込んだ結果、13/6期の売上が減少。13/6期の受注は、半導体・電子は予想を下回るものの、有機ELなど投資回復を見込み、微増の予想



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

利益率の推移・予想

経営環境が厳しい中、上期は、売上総利益率、営業利益率とも大幅に改善。通期は、営業利益率、売上総利益率とも過去5年間で最高を達成する見込み。

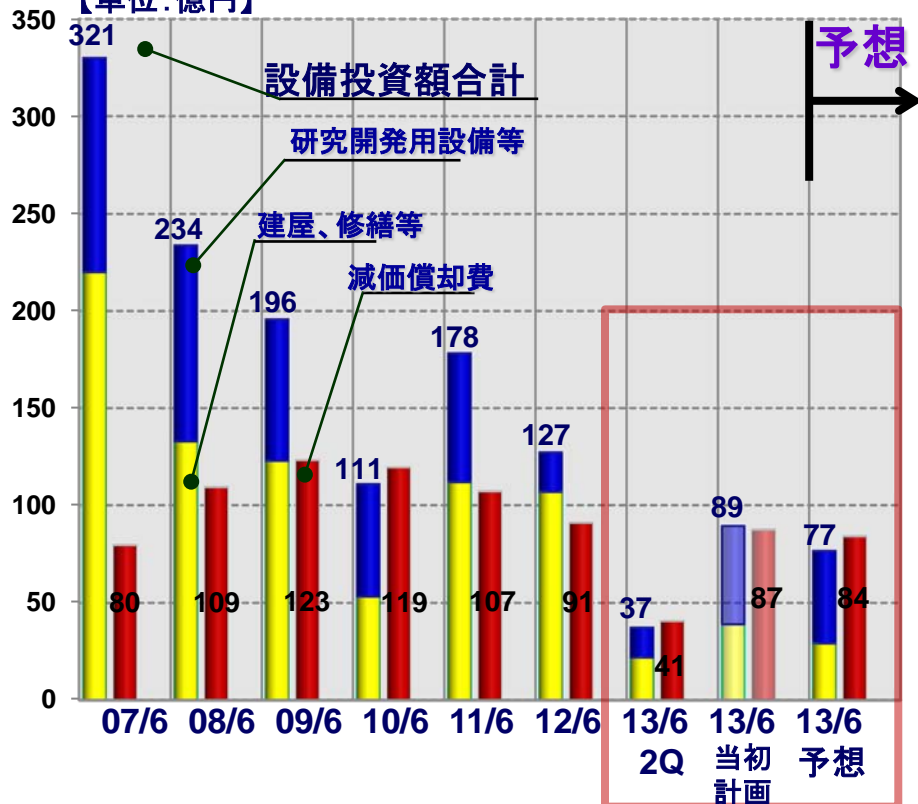


設備投資、減価償却費、研究開発費の推移・予想

投資額合計は減価償却費内を維持し、投資の中心は、デモ機など研究開発用設備に振り向けた。研究開発費は適度な選択と集中を行い、競争力を落とすことのないレベルを確保

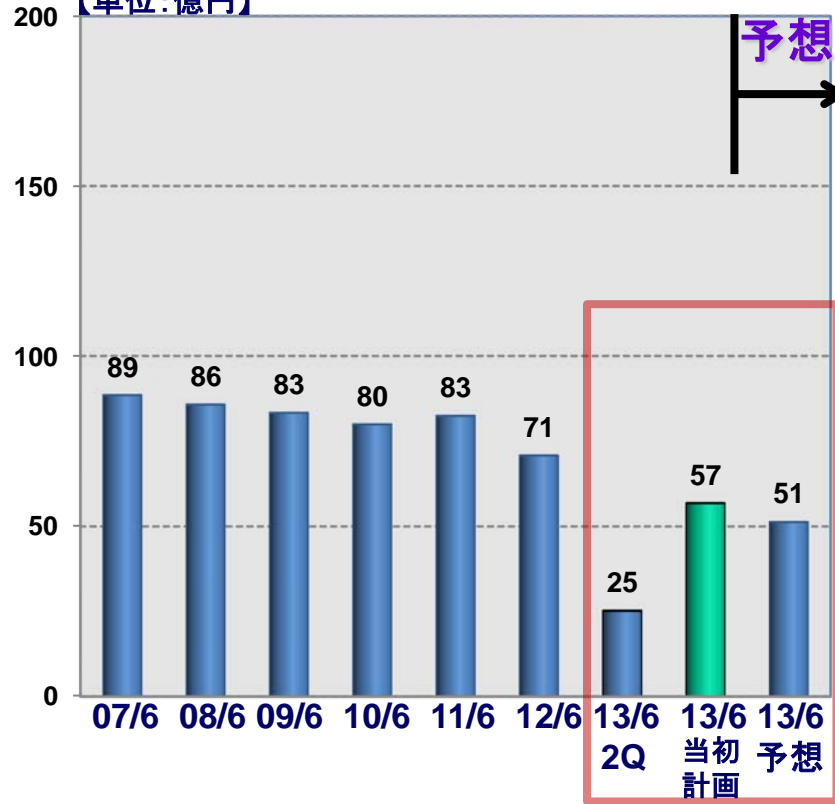
設備投資及び減価償却費の推移・予想

【単位：億円】



研究開発費の推移・予想

【単位：億円】



【単位未満は四捨五入】

注) 2012年8月14日付決算説明会資料の13/6期設備投資額計画値合計が「68億円」と表記していましたが、記述上のミスでした。「89億円」に訂正いたします。

アジェンダ

2013年6月期2Q(累計)業績概要

執行役員

経理部長 佐藤孔史

2013年6月期連結業績予想

代表取締役

執行役員社長 小日向久治

事業構造改革の進捗状況

代表取締役

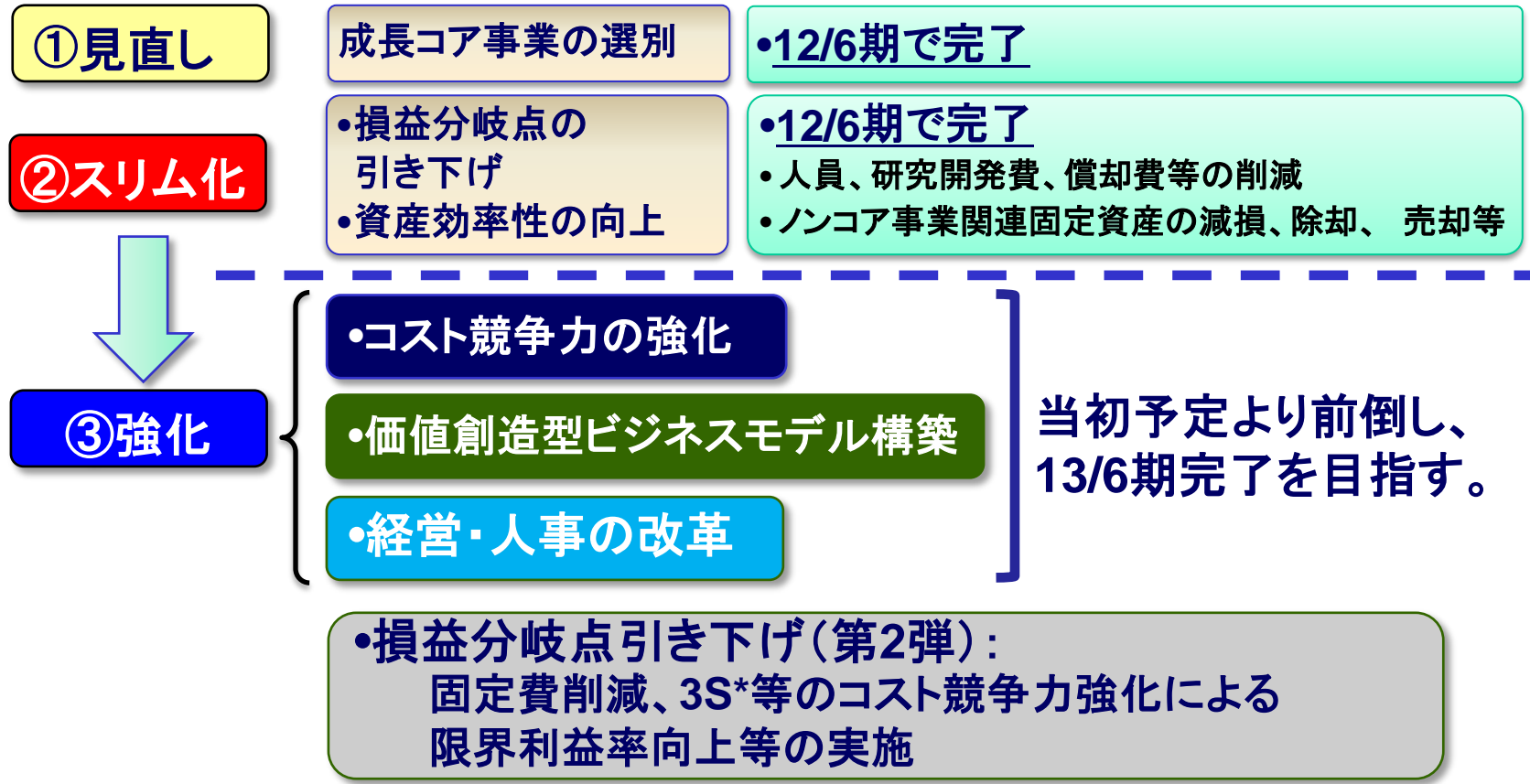
執行役員社長 小日向久治

質疑応答

事業構造改革

事業構造改革について(レビュー)

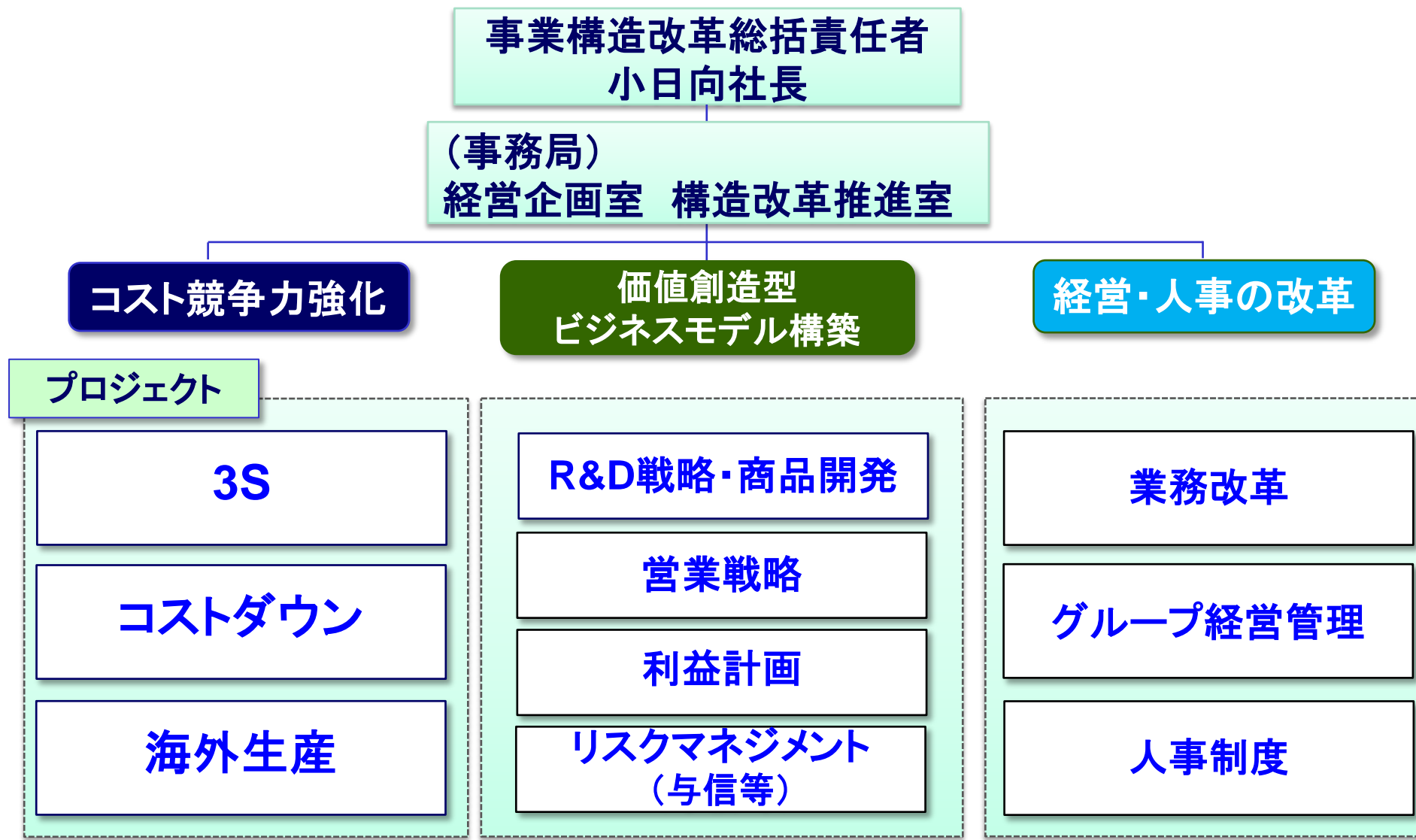
昨年度(4/26)「事業構造改革プラン」を発表し、12/6期に「コア事業の見直し」「スリム化」を完了。
 13/6期は、更なる利益体質の「強化」を目指した施策に注力。



*3S:「単純化(Simple)」「共通化(Same)」「標準化(Standard)」

事業構造改革

事業構造改革の体制



コスト競争力強化の進捗状況

■3S 推進本部

(標準化、共通化、単純化の推進)

- ▶ 推奨部品の決定、構造材・ボルトの共通化
- ▶ プラットホームの共通化検討(～6月)

■グローバル生産推進本部

(海外生産推進と国内生産体制の再構築)

- ▶ 中国蘇州工場でのモジュール生産の開始

■コストダウン推進本部

(コストダウンの推進)

- ▶ サプライヤーの選択と絞り込み: 421社⇒163社
- ▶ 中国調達センター活動開始
- ▶ 今期のコストダウン見込み: 購買単価で前期比9.4%を予測

価値創造型ビジネスモデル構築の進捗状況

■R&D戦略・商品開発プロジェクト

- ▶ 商品開発計画策定手順と商品開発プロセスの明確化
- ▶ ダントツ商品候補選定と開発支援(今期の候補は次ページ参照)

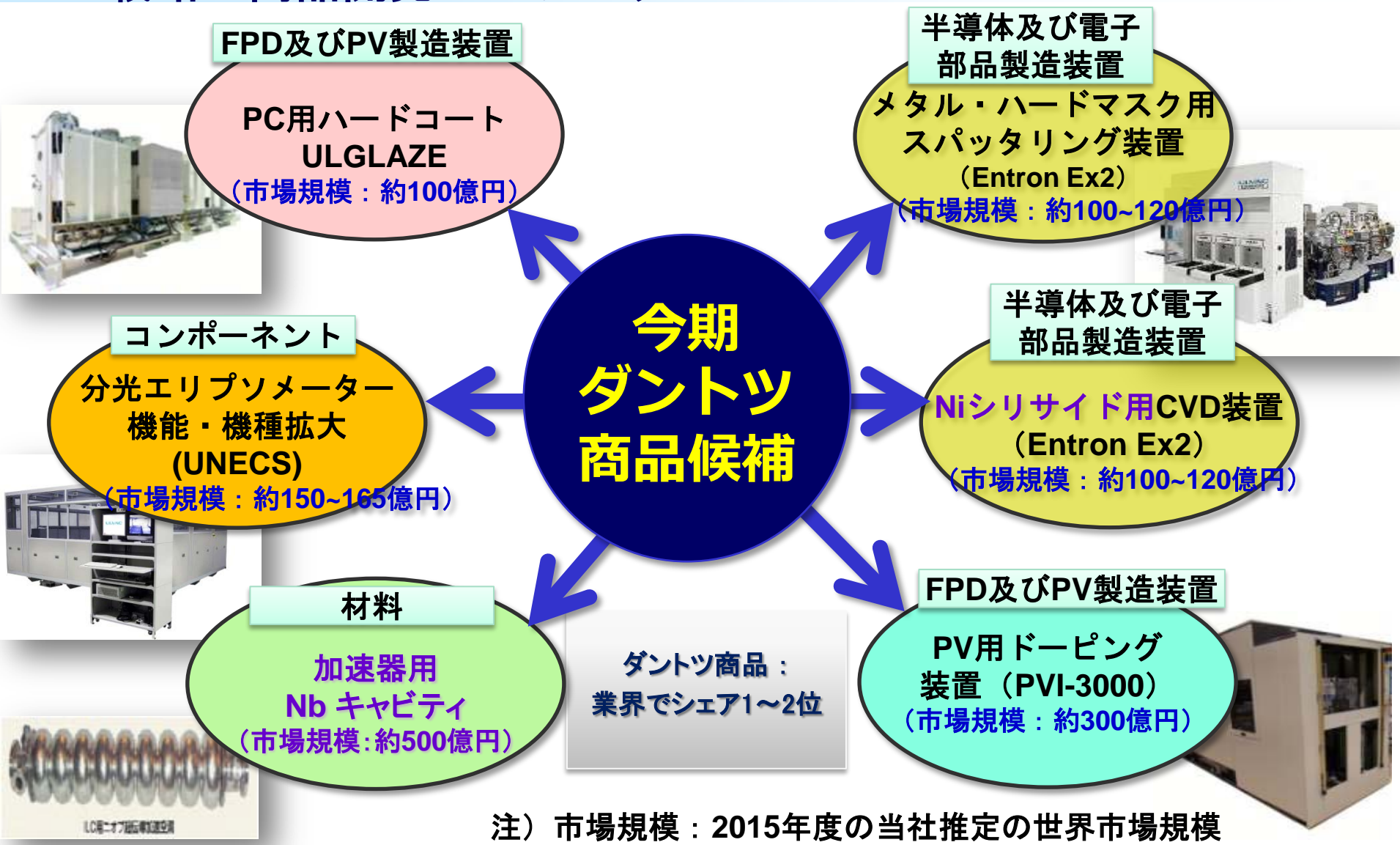
■営業戦略プロジェクト(営業力・販売力強化)

- ▶ 顧客密着営業、PM(プロジェクトマネージャー)、市場開拓室の機能的連携体制推進 (～6月)
- ▶ 潜在ニーズを把握するマーケティング手法の開発 (～6月)
- ▶ 発展する地域(BRICs,東南アジア)でのビジネス開拓 (～6月)
- ▶ 発展する分野(自動車、省エネ、グリーンエネルギー)の開拓 (～6月)

■利益計画プロジェクト(企業価値最大化)

- ▶ 収益構造の見える化と製品別収益マインドの向上 (～3月)
- ▶ 各事業部の事業製品戦略の策定 (～3月)

R&D戦略・商品開発プロジェクト



注) 市場規模：2015年度の当社推定の世界市場規模

経営・人事の進捗状況

■業務改革プロジェクト

- ▶ 全社レベルの会議体をすでに約40%削減
- ▶ 業務プロセスの見直しによる効率化アップ(～6月)
- ▶ 間接業務負担の削減 (～3月)

■グループ経営管理プロジェクト

- ▶ グループのガバナンスを強化し、事業ごとに成長戦略等を総合的に検討

■人事制度プロジェクト(働きがいのある会社への制度改革)

- ▶ 人事制度の見直し (～6月)
- ▶ 次世代育成・ローテーション制度の確立 (～6月)

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

本日は
ありがとうございました

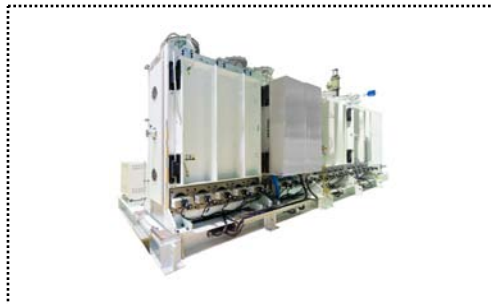
2013/6期 上期のトピックス

《受賞》半導体産業新聞
半導体オブ・ザ・イヤー2012 優秀賞受賞
「ENTRON-EX2 W300 CVD-Ni/CVD-Co」

《技術提携》
SABICとULVAC、自動車PC
樹脂ガラス量産用新プラズマ成膜装置
「ULGLAZEシステム」を発表

《新製品》
ドライ真空ポンプ「CRシリーズ」
を開発、販売開始

第18回
半導体・オブ・ザ・イヤー2012



7月

8月

9月

10月

11月

12月

《新製品》
各種熱電材料の特長に合わせた
「熱電特性評価装置ZEM-5シリーズ」
を開発、販売開始

《受賞》日本マリンエンジニアリング学会
マリンエンジニアリング・オブ・ザ・イヤー2011 受賞
「急速充電対応型電池モーター駆動
ウォータージェット推進システムの開発」

《新製品》
分子間相互作用
定量QCM装置
「AFFINIX Q8」
を開発、販売開始

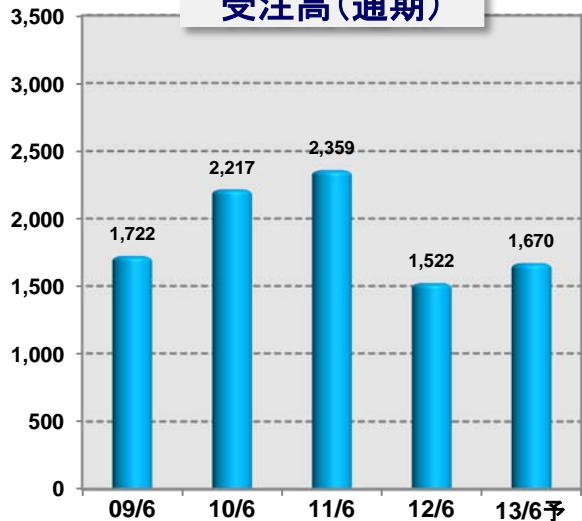


《新製品》規格品事業部新製品5種をリリース
「高真空自動搬送ロボット ELEC-RZ」
「金属蒸着用EBガン EGNシリーズ」
「光学膜蒸着用EBガン EGP-1G」
「成膜用RF電源 RFS-Nシリーズ」
「産業向けドライ真空ポンプ GRシリーズ」

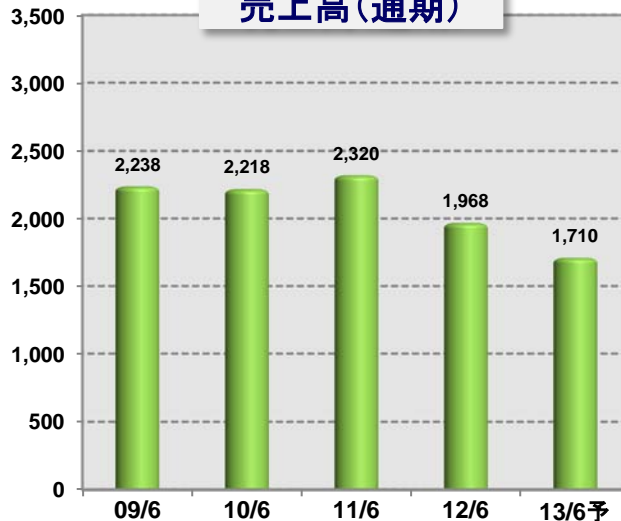
受注高・売上高・受注残高の推移・予想

【単位:億円】

受注高(通期)



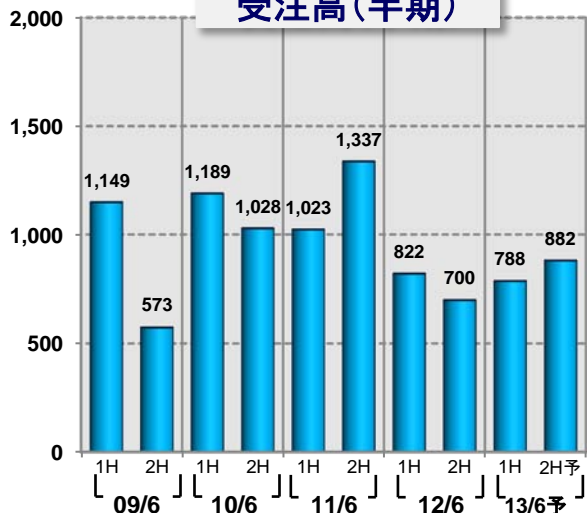
売上高(通期)



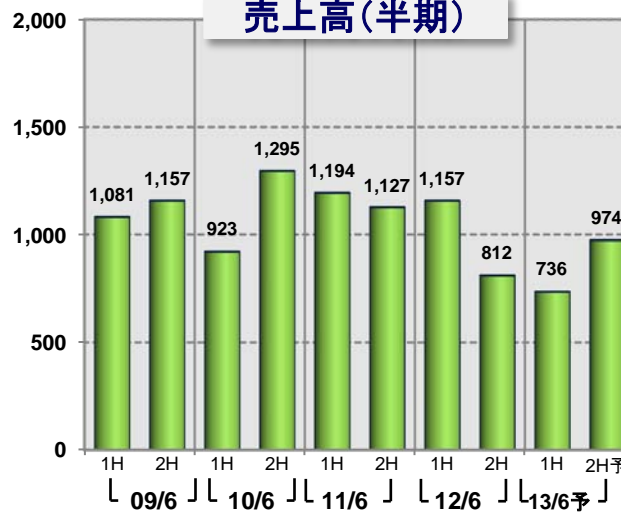
受注残高(半期)



受注高(半期)



売上高(半期)



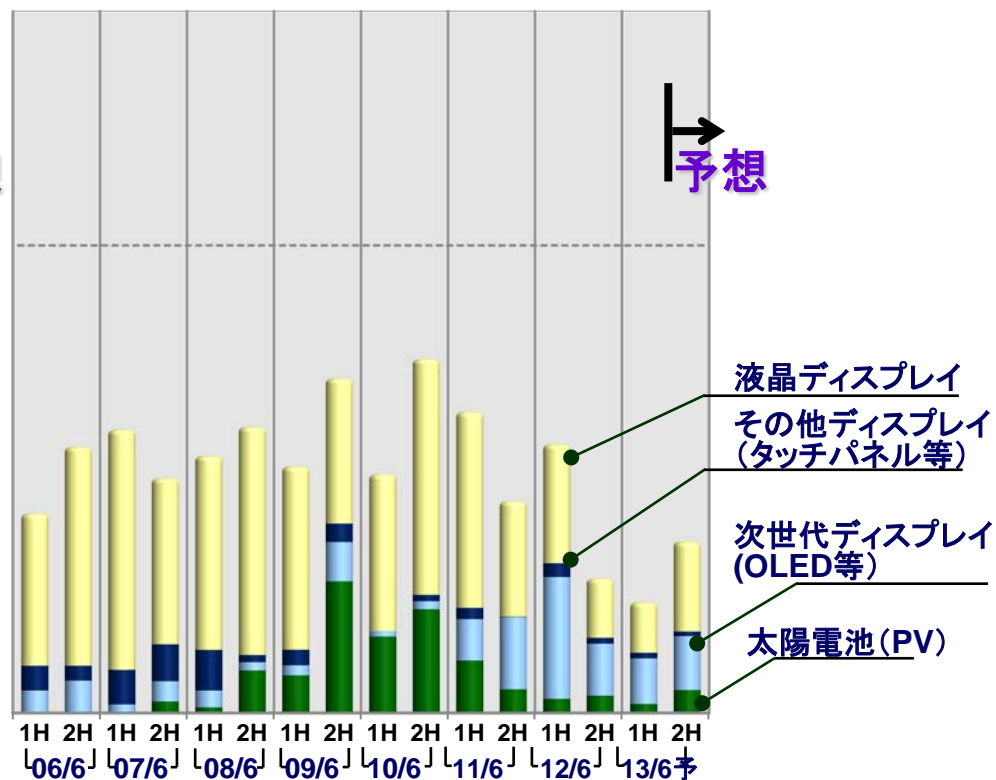
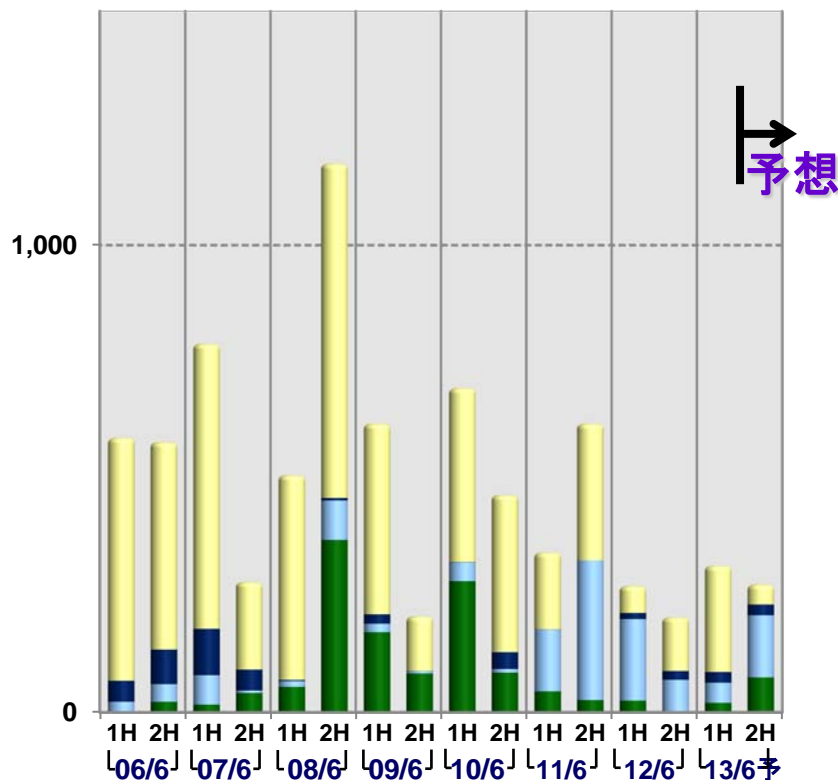
【小数点以下は四捨五入】

FPD製造装置・PV製造装置の推移・予想

【単位:億円】

受注高

売上高



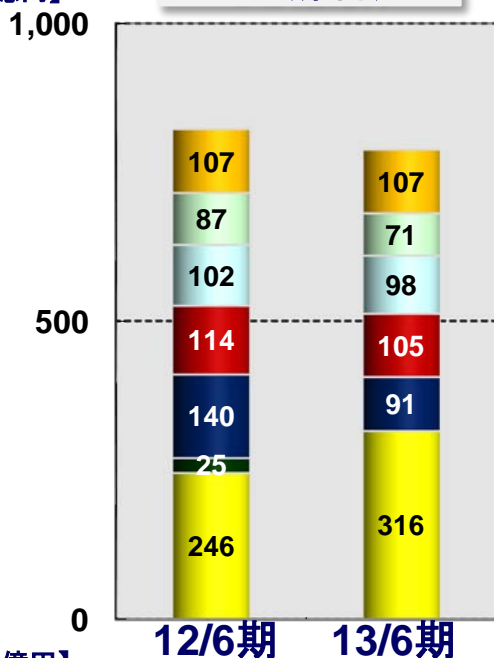
足元の受注環境

- ◆大型液晶ディスプレイは、全般的に低迷。一部中国でのみ投資を実施。
- ◆中小型液晶のLTPS (低温ポリシリコン) や中小型OLED投資は、やや減速。
- ◆有機EL TV用など製造装置の引き合いが具体化。

品目別受注高の実績

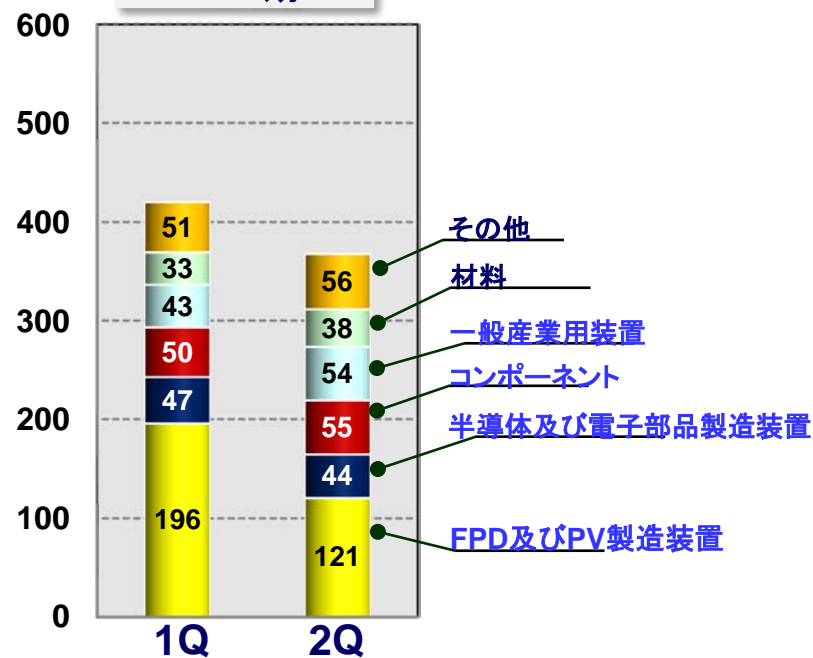
【単位:億円】

2Q(累計)



【単位:億円】

13/6期



12/6期 2Q(累計)		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	628	76.4%
FPD製造装置	246	29.9%
PV製造装置	25	3.0%
半導体及び電子部品製造装置	140	17.1%
コンポーネント	114	13.9%
一般産業用装置	102	12.4%
真空応用事業	194	23.6%
材料	87	10.6%
その他	107	13.0%
合計	822	100.0%

13/6期 2Q(累計)				前年同期比 (増減率)
セグメント	受注高	構成比		
真空機器事業	610	77.4%		-2.9%
FPD及びPV製造装置	316	40.1%		16.8%
半導体及び電子部品製造装置	91	11.5%		-35.4%
コンポーネント	105	13.4%		-8.1%
一般産業用装置	98	12.4%		-4.6%
真空応用事業	178	22.6%		-8.3%
材料	71	9.0%		-18.5%
その他	107	13.6%		0.0%
合計	788	100.0%		-4.2%

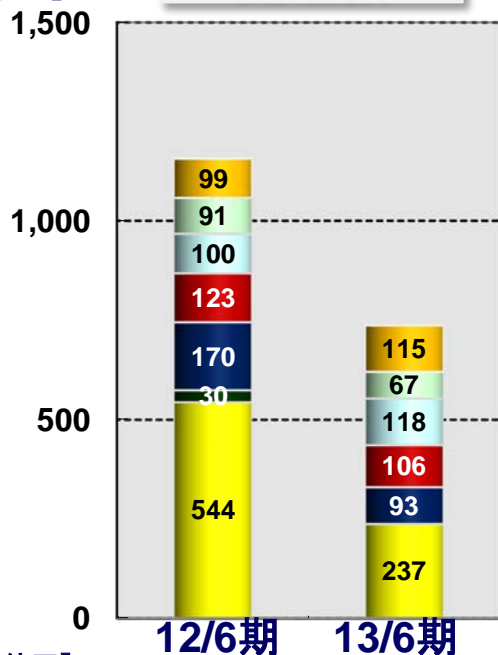
1Q		2Q	
受注高	構成比	受注高	構成比
336	80.0%	273	74.4%
196	46.5%	121	32.8%
47	11.2%	44	11.9%
50	12.0%	55	14.9%
43	10.3%	54	14.8%
84	20.0%	94	25.6%
33	7.8%	38	10.4%
51	12.1%	56	15.3%
420	100.0%	368	100.0%

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

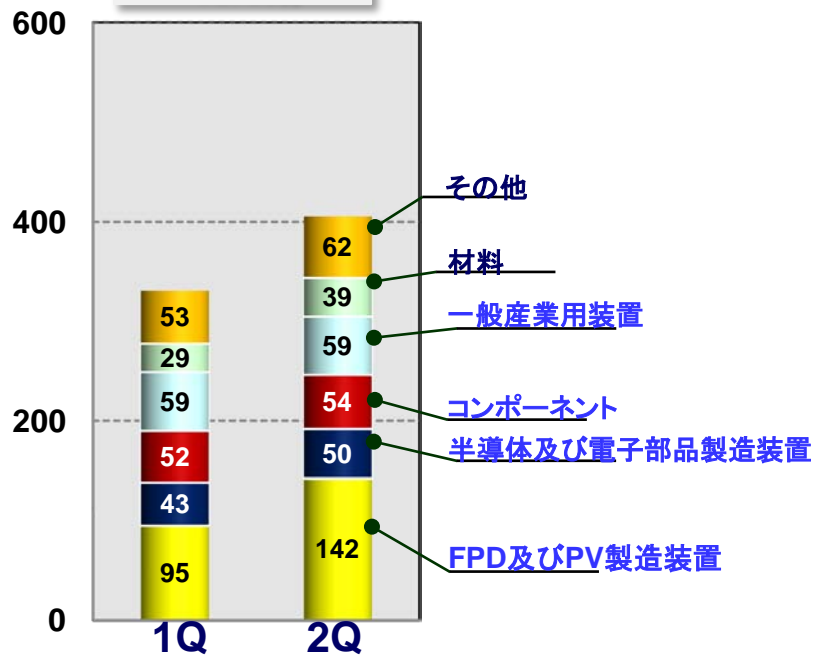
品目別売上高の実績

【単位:億円】

2Q(累計)



13/6期



【単位:億円】

セグメント	12/6期	2Q(累計)	売上高	構成比
真空機器事業			967	83.6%
FPD製造装置			544	47.1%
PV製造装置			30	2.6%
半導体及び電子部品製造装置			170	14.7%
コンポーネント			123	10.7%
一般産業用装置			100	8.6%
真空応用事業			190	16.4%
材料			91	7.8%
その他			99	8.6%
合計			1,157	100.0%

セグメント	13/6期	2Q(累計)	売上高	構成比	前年同期比 (増減率)
真空機器事業			553	75.2%	-42.8%
FPD及びPV製造装置			237	32.2%	-58.7%
半導体及び電子部品製造装置			93	12.6%	-45.4%
コンポーネント			106	14.4%	-14.1%
一般産業用装置			118	16.0%	18.0%
真空応用事業			183	24.8%	-3.6%
材料			67	9.2%	-25.5%
その他			115	15.6%	16.3%
合計			736	100.0%	-36.4%

セグメント	1Q	2Q	売上高	構成比	売上高	構成比
真空機器事業			249	75.2%	305	75.2%
FPD及びPV製造装置			95	28.7%	142	35.1%
半導体及び電子部品製造装置			43	13.1%	50	12.2%
コンポーネント			52	15.6%	54	13.4%
一般産業用装置			59	17.9%	59	14.4%
真空応用事業			82	24.8%	101	24.8%
材料			29	8.6%	39	9.6%
その他			53	16.1%	62	15.3%
合計			331	100.0%	405	100.0%

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

真空テクノロジーで /
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC